

ユニバーサル美容専門学校 授業科目一覧表（2023年度入学生）

衛生専門課程 総合美容科

教科科目		主な授業形態	授業時間数			単位数	
			1年	2年	計		
必修 課 目	関係法規・制度	講義		30	30	1	
	衛生管理	講義	60	30	90	3	
	保健	講義	30	60	90	3	
	化粧品化学	講義	30	30	60	2	
	文化論	講義	30	30	60	2	
	美容技術理論	講義	90	60	150	5	
	運営管理	講義		30	30	1	
	美容実習	実習	570	330	900	30	
小 計			810	600	1410	47	
選 択 課 目	一般教養 課目	化粧品化学基礎	講義	30		30	1
		ビジネスマナー	講義	60		60	2
	専 門 教 育 課 目	サロンワーク	実習	30	30	60	2
		美容学科演習	演習		60	60	2
		デザイン	実技	30	30	60	2
		美容総合技術	実習		210	210	7
		ヘアテクニックⅠ※1	実習	60			2
		ネイルテクニック※1	実習				
		メイクテクニック※1	実習				
		ヘアテクニックⅡ※2	実習		60	60	2
		和装・ブライダルテクニック※2	実習				
エステティック※2	実習						
小 計			210	390	600	20	
合 計			1020	990	2010	67	

※1 1年次後期にヘアテクニックⅠ、ネイルテクニック、メイクテクニックから1課目選んで履修する。

※2 2年次前期にヘアテクニックⅡ、和装・ブライダルテクニック、エステティックから1課目選んで履修する。

令和6年度 学習指導計画

課目名	関係法規・制度		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・後期・その他()			課目	必修課目 選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 関係法規・制度 法令集 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師になるために必要な関係法規・制度を解説する。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格する。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	1	第1章 法制度の概要 第1節 社会生活における法の役割				
5月	5	第2節 法の形式 第3節 衛生法規の概要				
6月	3	第4節 理容師法・美容師法と附属法令				
7月	3	第2章 衛生行政の概要 第1節 衛生行政の意義と歴史 第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容				前期定期試験
8月	0					
9月	1	第3節 衛生行政を担う行政機関				
10月	3	第3章 美容師法 第1節 目的 第2節 用語の定義 第3節 美容師に関する規定				
11月	4	第4節 施設に関する規定 第5節 立入検査と環境衛生監視員 第6節 違反者等に対する行政処分 第7節 罰則				
12月	3	ワークブックによる演習				
1月	4	国家試験過去問題演習				
2月	3	国家試験過去問題演習				後期定期試験
3月						

【評価基準】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	衛生管理		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目 選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 衛生管理 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な環境衛生や公衆衛生・感染症や消毒について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な公衆衛生や感染症の知識を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	感染予防の三原則				小テスト
5月	4	感染症の各論 1.2節				小テスト
6月	4	感染症の各論2節 具体的な対策の例 感染症まとめ				小テスト
7月	2	期末試験解説・解答 まとめ				前期定期試験
8月						
9月	2	消毒法総論 1節～4節				小テスト
10月	3	消毒法各論 1節～3節				小テスト
11月	5	消毒法実習 1節～3節				小テスト
12月	2	衛生管理の実践例 1.2節				小テスト
1月		復習 国家試験対策				小テスト
2月	6	復習 期末試験解説 国家試験対策				後期定期試験
3月						

【 評価基準 】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	保健		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 保健 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な人体の構造、皮膚の構造や生理機能、皮膚付属器官の保健や疾患について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な人体の構造及び皮膚の構造を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	3	第1章 皮膚の構造				
5月	8	第1章 皮膚の構造・第2章 皮膚付属器官の構造				小テスト
6月	8	第3章 皮膚の循環器系と神経系				小テスト
7月	6	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能				前期定期試験
8月						
9月	4	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能				小テスト
10月	8	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健				小テスト
11月	8	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患				小テスト
12月	4	復習				
1月	4	復習				
2月	9	国家試験対策				後期定期試験
3月						

【 評価基準 】

- ・定期試験の成績90%
- ・授業態度・出欠・小テスト・提出物10%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	香粧品化学		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 香粧品化学 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 1年次に学んだ内容に続き教科書の内容を理解する。理容、美容の技術に用いる香粧品の成分や特性の知識を身に付ける。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験にむけて練習問題を多くこなし、確実に合格点がとれる力をつける。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画	
4月	2	第2編 第2章 1節 1節 メイクアップ用香粧品の種類と剤形 2節 ベースメイクアップ香粧品				
5月	3	3節 ポイントメイクアップ香粧品 4節 アイメイクアップ製品				
6月	3	5節 まつ毛ケア製品 6節 ネイルメイクアップ製品			確認テスト	
7月	3	7節 ネイルケア製品			前期定期試験	
8月						
9月	4	第2編 第3章 1節 1節 ヘアクレンジング用香粧品 2節 ヘアコンディショニング用香粧品				
10月	4	3節 ヘアスタイリング料 4節 パーマ剤				
11月	1	5節 ヘアカラー製品				
12月	2	6節 スカルプケア製品				
1月	3	国家試験対策、過去問題、練習問題			確認テスト	
2月	5	国家試験対策、過去問題、練習問題			後期定期試験	
3月						

【 評価基準 】

・定期試験の成績100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	文化論		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 文化論 ワークブック DVD			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容業の歴史や、古代から現在に至るまでの理美容文化史を学ぶ。礼装の種類を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な日本及び西洋の理美容文化、礼装の種類を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	1年次の復習 第10節 現代(1960年～1970年代)				
5月	4	第11節 現代(1980年代～1990年代)				
6月	3	第12節 現代(2000年代～2010年代以降)				
7月	3	第3章 第6節～復習 第4章 ファッション文化史 西洋編 第1節古代エジプト				前期定期試験
8月						
9月	1	第2節 古代ギリシャ・ローマ 第3節 古代ゲルマン 第4節 中世ヨーロッパ 第5節 近世Ⅰ(16世紀)				
10月	4	第6節 近世Ⅱ(17世紀) 第7節 近世Ⅲ(18世紀) 第8節 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初) 第9節 近代Ⅱ(19世紀)				
11月	4	第10節 現代Ⅰ(1910年代～1920年代) 第11節 現代Ⅱ 第12節 現代Ⅲ～第16節 現代Ⅶ(1940年代～2010年) 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装				
12月	3	第2節 洋装の礼装 第2節 復習				
1月	2	国家試験対策				
2月	4	国家試験対策				後期定期試験
3月						
<p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績80% ・出席点10% ・提出物点10% とし100点法で評価 <p>※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする</p>						

令和6年度 学習指導計画

課目名	美容技術理論		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容技術理論1・2 ワークブック 自作プリント			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容技術を習得しより良い技術を提供するために必要な美容技術理論を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な美容技術理論を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画	
4月	5	第8章 エステティック				
5月	4	第8章 エステティック 第9章 ネイル			エステティック小テスト	
6月	8	第9章 ネイル 第10章 メイク			ネイル小テスト メイク小テスト	
7月	3	第10章 メイク 美容技術理論1及び第8章～第10章までの復習			前期定期試験	
8月						
9月	4	第11章 日本髪				
10月	8	第11章 日本髪 第12章 和装			日本髪小テスト	
11月	8	第12章 和装 1年次の復習			和装小テスト	
12月	4	美容技術理論1の復習				
1月						
2月	16	国家試験対策			後期定期試験	
3月						
<p>【 評価基準 】</p> <p>・定期試験の成績100%</p> <p>※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする</p>						

令和6年度 学習指導計画

課目名	運営管理		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 運営管理			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ。 ・人を雇うことの責任や働く上で求められることを学ぶ。 ・顧客を満足させるサービスとは何か、それをどう実現するかについて学ぶ。 <p>【達成目標】</p> <p>経営や経営者について基本的な考え方や経営の要点を学び国家試験に合格するために必要な運営管理を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	1	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは				
5月	3	第2章 理容業・美容業の経営について				
6月	4	第3章 資金の管理				
7月	3	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源				前期定期試験
8月						
9月	1	第2章 健康・安全な職場環境の実現				
10月	4	第3章 従業員としての視点から				
11月	4	第3編 顧客のために 第1章 サービスデザイン				
12月	3	第2章 マーケティング				
1月	3					
2月	5	第3章 サービスにおける人の役割 まとめ及び国家試験対策				後期定期試験
3月						

【評価基準】

・定期試験の成績100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合には課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	美容実習	単位数	11	年間 時数	330
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D
履修 時期	通年・ 前期 ・後期・その他()			課目	必修課目 ・選択課目
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容実習1・2 美容技術理論1・2		授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次に習得した基礎技術の向上。 ・ヘアショーなどの創作スタイル作成及び撮影技術といった応用技術や表現方法を学ぶ。 ・美容師国家試験取得に必要な技術の習得。 <p>【達成目標】</p> <p>創意工夫の意識を持ち、美容技術の向上を目指す。美容師国家試験合格を目指す</p>				
実務経験					
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画
4月	64	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアショー準備 ・ワインディング及びオールウエーブ(国家試験課題) 構成の確認、タイム取り 			
5月	60	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアショー準備 ・オールウエーブ(国家試験課題)タイム取り 			
6月	72	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアショーの構成(ヘアメイクから衣装まで)と準備 ・オールウエーブ(国家試験課題)タイム取り 			
7月	64	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアショーの構成及び制作練習 ・オールウエーブ(国家試験課題)タイム取り 			
8月					
9月	70	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアショー仕上げ ・オールウエーブ(国家試験課題)タイム取り 			前期定期試験
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					

【評価基準】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は定期試験の評価とし、59点以下の場合は合格するまで再試験を行う

令和6年度 学習指導計画

課目名	サロンワーク		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・後期・ <u>その他</u> (11月まで)			課目	必修課目・ <u>選択課目</u>	
使用教材				授業の種類	講義・演習・ <u>実習</u>	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 アイロンワークやコーミングなどアレンジ技術やヘアスタイリングといった基礎技術を実践的に学ぶ。</p> <p>【達成目標】 卒業後のサロンワークに必要な接客・技術・マナーを実践的に習得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月						
5月	6	社会人・接客のマナー(言葉遣い、姿勢) 自己分析				
6月	3	アレンジ基礎 (編み込み、ピンの使い方、止め方)				
7月	6	アレンジ基礎 (スタイリング・スタイリング剤ノウハウ)・作品作り				
8月						
9月	3	アレンジ作品作り				
10月	6	撮影(携帯のカメラを使いサロンのような撮影)				
11月	6	作品制作及び作品撮り				技術試験 作品を評価
12月						
1月						
2月						
3月						

【評価基準】

技術試験の成績を100%とし100点法で評価
59点以下の場合は合格するまで再試験を行う

令和6年度 学習指導計画

課目名	美容学科演習	単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目
使用教材	日本理容美容教育センター発行 ワークブック 美容師国家試験過去問題 課目毎プリント		授業の種類	講義 ・ 演習 ・実習	

授業の概要と達成目標

【授業の概要】
美容師国家試験(筆記試験)合格対策授業を講義や演習形式で行う。

【達成目標】
美容師国家試験(筆記試験)合格を目指す。

実務経験

月	指導予定 時間数	指導内容	試験計画
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	8	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認	テスト
11月	8	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認	テスト
12月	8	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認	テスト
1月	6	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認	テスト
2月	30	模擬試験、ワークブック、美容師国家試験過去問題、 課目毎に国家試験対策講義 復習	テスト 外部模擬試験
3月			

【 評価基準 】
・各テストの平均点で評価

※学年の評価は各テストの平均点とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする。

令和6年度 学習指導計画

課目名	美容総合技術	単位数	7	年間 時数	210
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容実習1		授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美容実習で習得した基礎技術の向上、衛生知識を学ぶ <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職後に役立つ知識、技術の習得 ・美容師国家試験(実技試験)合格を目指す 				
実務経験					
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画
4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月	15	カット(基本の切り方、レイヤーカット)			
11月	18	カット(国家試験課題)、ワインディング、オールウェーブ			
12月	33	国家試験課題、校内技術大会に向けての技術練習			
1月	120	国家試験課題			卒業試験 国家試験課題
2月	24	国家試験課題			
3月					

【 評価基準 】

・卒業試験の成績100%とし100点法で評価

・学年の評価は卒業試験の成績とし、59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。

令和6年度 学習指導計画

課目名	ヘアテクニックⅡ		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・ 前期 ・後期・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	自作プリント・自作画像教材			授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・似合わせの法則を学びイメージやタイプ別に合わせたヘアデザインの知識と技術を学ぶ。 ・韓国風メンズカット・メンズパーマやハイトーンデザインカラーのトレンド技術を学ぶ ・アイロンワークを修得し髪質改善の実践を行う。 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージやタイプ別といったより実践的なヘアデザインの知識と技術を習得する。 					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	似合わせの定義・シザーの開閉・レイヤー・コテ巻き・撮影					
7～12	パーマ理論 平巻き 波巻き ワンレングスカット					
13～18	似合わせ理論・顔診断・ボブ・ショート					
19～24	4種類のパーマ(スパイラル ピンパーマ 斜め 縦スライス)					
25～30	デザイン演出法・韓国レイヤー・パーマ					
31～36	授業のまとめ・メンズスタイル・理論の復習					
37～42	デザインカラー 理論と実践					
43～48	縮毛矯正・髪質改善アイロンワーク					
49～54	理論テスト・創作課題・コンテスト					
55～60	アイロンワーク 髪質改善トリートメント					

【 評価基準 】

・アイロンワーク試験の点数及び作品制作の点数の平均点を100点法で評価。

※59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。

令和6年度 学習指導計画

課目名	和装・ブライダルテクニク		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・ 前期 ・後期・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容技術理論2・美容実習2			授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル(ウエディング)ヘアメイクに必要な基本的な知識と技術を習得する ・振袖の着付け(他装)、帯結び <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相モデルで各自イメージしたブライダル(ウエディング)ヘアメイクの技術を施す ・振袖の着付け(他装)の技術を習得する。・着付に必要なものの名称・用途について理解する 					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1~6	ブライダルヘアメイクのお仕事について 新郎・新婦のヘアメイクとお仕度(デモンストレーション)					
7~12	ヘアセット(ウィッグ)					
13~18	相モデルでヘアメイク					
19~24	相モデルでヘアメイク					
25~30	グループで新郎新婦のヘアメイクとお仕度					
31~36	着付に必要なものの名称、用途説明、準備の仕方 体型補整、長襦袢の着せ方、着物の着せ方、片付け方					
37~42	着物の着せ方、変わり結び					
43~48	振袖着付け練習及び技術試験についての説明					
49~54	振袖着付け技術試験				技術試験	
55~60	総復習					

【 評価基準 】

・ブライダルヘアメイクの作品点数と振袖の着付け技術試験の点数の平均点を100点法で評価

※59点以下の場合は合格するまで再試験(技術試験)を行う。

令和6年度 学習指導計画

課目名	エステティック		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・ 前期 ・後期・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	日本エステティック協会発行 認定フェイシャルエステティシャン理論と技術		授業の種類	講義・演習・ 実習		
授業の概要 と達成目標	<p>【授業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルケア、ボディケア、フットケア、脱毛の基礎知識と技術を学ぶ <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルケア・ボディケア・フットケア、脱毛の基礎知識と技術の習得 ・認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン資格試験取得を目指す 					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	フェイシャルケアについて 準備の仕方 クレンジング、ディープクレンジング(スチーマー、酵素パック)、フェイシャル機器 (バター)、仕上げ					
7～12	ディープクレンジング(ブラシ洗顔)、マッサージ(デコルテ含む)、 パック、仕上げ					
13～18	ディープクレンジング(吸引)、フェイシャル機器(イオン導入) マッサージ、 パック					
19～24	ディープクレンジング、フェイシャル機器、マッサージ、パック					
25～30	フットケア、ワックス脱毛					
31～36	ボディケアについて 準備の仕方 ボディマッサージ(下肢背面)					
37～42	ボディマッサージ(背中)					
43～48	ボディ機器(低周波、G5)					
49～54	ボディ機器(低周波、G5) ボディマッサージ復習					
55～60	復習、筆記試験、実技試験				筆記試験、実技試験	

【評価基準】

・筆記試験と実技試験の平均点を100点法で評価

※59点以下は不合格とし課題提出させ合格とする。

ユニバーサル美容専門学校 授業科目一覧表（2024年度入学生）

衛生専門課程 総合美容科

教科科目		主な授業形態	授業時間数			単位数	
			1年	2年	計		
必修 課 目	関係法規・制度	講義		30	30	1	
	衛生管理	講義	60	30	90	3	
	保健	講義	30	60	90	3	
	化粧品化学	講義	30	30	60	2	
	文化論	講義	30	30	60	2	
	美容技術理論	講義	90	60	150	5	
	運営管理	講義		30	30	1	
	美容実習	実習	540	360	900	30	
小 計			780	630	1410	47	
選 択 課 目	一般教養 課目	化粧品化学基礎	講義	30		30	1
		ビジネスマナー	講義	60		60	2
	専門 教 育 課 目	サロンワーク	実習	30	30	60	2
		美容学科演習	演習		60	60	2
		デザイン	講義	60		60	2
		美容総合技術	実習		210	210	7
		ヘアカラー※1	実習	60			
		ヘアアレンジ※1	実習				
		メイクアップ検定※1	実習				
		ジェルネイル※1	実習			60	2
		エステティック※1	実習				
		パーマ&スタイリング※2	実習				
		カット&スタイリング※2	実習				
		まつエク&アイブロウ※2	実習		60	60	2
着付け&ブライダルヘアメイク※2	実習						
トレンドメイク※2	実習						
小 計			240	360	600	20	
合 計			1020	990	2010	67	

※1 1年次後期にヘアカラー、ヘアアレンジ、メイクアップ検定、ジェルネイル、エステティックから1科目選んで履修する。

※2 2年次前期にパーマ&スタイリング、カット&スタイリング、まつエク&アイブロウ、着付け&ブライダルヘアメイク、トレンドメイクから1科目選んで履修する。

令和6年度 学習指導計画

課目名	衛生管理		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 衛生管理 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な環境衛生や公衆衛生・感染症や消毒について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な公衆衛生や感染症の知識を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	4	1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要 1節 公衆衛生の意義と課題 2節 公衆衛生発展の歴史 3節 理容師・美容師と公衆衛生				
5月	6	4節 保健所と理容業・美容業 2章 保健 1節 保健				
6月	8	2編 環境衛生 1章 環境衛生 1節 環境衛生の概要 2節 空気環境 3節 衣服・住居の衛生				
7月	4	4節 上・下水道と廃棄物 5節 衛生害虫とねずみ 6節 環境保全				前期定期試験
8月						
9月	6	3編 感染症 1章 感染症の総論 1節 人と感染症				
10月	8	2節 病原微生物				
11月	4	3節 感染症の予防				
12月	6	2章 感染症の各論 1節 理容・美容と感染症 2節 主な感染症				
1月	6	3節 具体的な対策の例				
2月	4	1年の復習				後期定期試験
3月	4	1年の復習				

【 評価基準 】

・定期試験の成績100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	保健		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 保健 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な人体の構造及び各名称・機能・特徴などを学び、技術の習得や向上に役立てる。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な人体の構造及び機能の解剖学を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	第1章『頭部、顔部、頸部の体表解剖学』 1項「人体各部の名称」、 2項「頭頸部の体表解剖学」				
5月	3	第2章『骨格器系』 1項「骨の種類と構造」、2項「骨の連結」、 3項「骨格器系とそのはたらき」				
6月	3	第3章『筋系』 1項「筋の種類とその特徴」、2項「主な骨格筋とそのはたらき」、 3項「表情筋と表情運動」				
7月	2	第4章『神経系』 1項「神経系の成り立ち」				前期定期試験
8月						
9月	3	第4章2項「中枢神経とそのはたらき」、3項「末梢神経とそのはたらき」 第5章『感覚器系』 1項「視覚」				
10月	4	第5章2項「聴覚」、3項「平衡感覚」、4項「味覚」、5項「嗅覚」、6項「皮膚感覚」				
11月	3	第6章『血液と免疫系』 1項「血液のあらまし」、1節「血球」、2項「免疫のあらまし」、 3項「アレルギー」				
12月	3	第7章『循環器系』 1項「心臓のあらまし」2項「血液循環の仕組み」、 3項「血液の循環経路」、4項「リンパ管系の仕組みと働き」				
1月	4	第8章『呼吸器系』 1項「呼吸器系のあらまし」、2項「気道」、 3項「肺の仕組みとガス交換」、4項「呼吸運動」 ・第9章『消化器系』 1項「消化器系のあらまし」				
2月	3	第8章2項「消化管の仕組み」、3項「消化管のはたらき」、4項「消化と物質代謝」				後期定期試験
3月						

【 評価基準 】

- ・定期試験の成績90%
- ・授業態度・出欠・小テスト・提出物10%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合には課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	香粧品化学		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目 ・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 香粧品化学 自作プリント			授業の種類	講義 ・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 香粧品に関する法律と取り扱い、香粧品原料、各香粧品の特性について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 香粧品の意義や成分の規制などを知り、美容師の仕事に反映させる。各香粧品の特徴を理解し、美容師の技術の向上につなげる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画	
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月	8	第1編 第3章 4節 界面活性剤 5節 高分子化合物				
11月	6	6節 色材 7節 香料				
12月	4	8節 製品を安定させる配合原料				
1月	6	9節 その他の機能性配合原料 10節 雑貨原料				
2月	4	第2編 第1章 1節 香粧品の効果と使用プロセス 2節 クレンジング用香粧品			後期定期試験	
3月	2	3節 コンディショニング用香粧品 4節 トリートメント用香粧品				

【 評価基準 】

・定期試験の成績100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	文化論		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 文化論 ワークブック DVD			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容業の歴史や、古代から現在に至るまでの美容文化史を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な日本の理容及び美容文化を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	第1章総論 第2章日本の理容業・美容業の歴史 第1節 理容業・美容業の登場				
5月	3	第2節 江戸時代の理容業・美容業 第3節 近代の理容業・美容業				
6月	3	第4節 現代の理容業・美容業 第3章ファッション文化史 日本編 第1節 縄文・弥生・古墳時代				
7月	3	復習及びテスト				前期定期試験
8月						
9月	1	第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代)				
10月	4	第3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) 第4節 近世(戦国末・安土桃山時代)				
11月	4	第5節 近世(江戸時代) 第6節 近代(明治時代)				
12月	3	第7節 近代(大正時代) 第8節 近代(昭和20年まで)				
1月	4	第9節 現代(1945年～1950年代)				
2月	3	第3章の復習				後期定期試験
3月						
<p>【 評価基準 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績80% ・出席点10% ・提出物点10% とし100点法で評価 <p>※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする</p>						

令和6年度 学習指導計画

課目名	美容技術理論		単位数	3	年間 時数	90
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容技術理論1・2 ワークブック DVD			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容技術を習得しより良い技術を提供するために必要な美容技術理論を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な美容技術理論を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画	
4月	6	序章 美容技術理論を学ぶにあたって 第1章 美容用具				
5月	13	第1章 美容用具 第2章 シャンプーイング シャンプーイング				
6月	13	第3章 ヘアデザイン 第4章 ヘアカットイング 基礎理論				
7月	9	試験解説 7. ベーシックなカット技法 8. シザーズによるカット技法			前期定期試験	
8月						
9月	9	9. レザーによるカット技法 第5章 パーマネントウェーブ				
10月	11	第7章 ヘアカラーリング 1. ヘアカラーの概論～4. 染毛のメカニズム				
11月	11	5. 色の基本～12. ヘアブリーチ				
12月	9	第6章 ヘアセッティング 1. ヘアセッティング～5. ヘアウェービング				
1月	10	6. ローラーカーリング				
2月	10	復習			後期定期試験	
3月						

【評価基準】

・定期試験の成績 95%

・出席点,提出物点 5% とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	美容実習		単位数	18	年間 時数	540
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他()			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容実習1・2 美容技術理論1・2			授業の種類	講義・演習・実習	

授業の概要と達成目標

【授業の概要】
美容実習及び美容技術理論に出てくる美容の基礎技術とそれに伴う理論及び美容師国家試験取得に必要な技術及びそれに伴う理論を学ぶ。

【達成目標】
美容師として必要な基礎技術及び美容師国家試験に合格するために必要な技術を習得させる。

実務経験

月	指導予定 時間数	指導内容	試験計画
4月	46	・テーブルセッティング、ウエットの仕方、鏡の開閉 ・ネイル・メイク(検定3級内容)	
5月	70	・ネイル・メイク(検定3級内容)・エステ・ヘッドマッサージ ・ブラッシング、ドライヘッドスパ・ワインディング、ブロッキング	ネイル試験
6月	70	・ワインディング、ブロッキング(国家試験構成)・エステ ・ヘッドマッサージ、ブラッシング、ネイル・メイク(検定3級内容)	メイク試験
7月	45	・ワインディング(国家試験構成)、ネイル・メイク(検定3級内容) ・サイドシャンプー・フォトコン用作品制作・エステ	ワインディング試験
8月	0		
9月	67	・ワインディング(国家試験構成)・マツエク	前期定期試験 ワインディング試験
10月	55	・ワインディング(国家試験構成)・エステ(フェイシャルケア・ハンドマッ サージ)・和装技術・オールウエーブ用ウィッグパーマ・カラーリング	
11月	48	・ワインディング、オールウエーブ(国家試験構成)・エステ(フェイ シャルケア・ハンドマッサージ)・編み込み リアシャンプー	
12月	25	・ワインディング、オールウエーブ(国家試験構成)・エステ(フェ イシャルケア・ハンドマッサージ)・編み込み リアシャンプー	アップスタイル試験 シャンプー試験
1月	40	・ワインディング、オールウエーブ(国家試験構成)・エステ(フェ イシャルケア・ハンドマッサージ)	
2月	40	・ワインディング、オールウエーブ(国家試験構成)・エステ(フェ イシャルケア・ハンドマッサージ)	後期定期試験 ワインディング及び オールウエーブ
3月	35	・ワインディング、オールウエーブ(国家試験構成)	

【 評価基準 】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は合格するまで再試験を行う

令和6年度 学習指導計画

課目名	化粧品化学基礎		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・ 前期 ・後期・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 化粧品化学 自作プリント			授業の種類	講義 ・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 化粧品に関する法律と取り扱い、化粧品原料、各化粧品の特性について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 化粧品の意義や成分の規制などを知り、美容師の仕事に反映させる。各化粧品の特徴を理解し、美容師の技術の向上につなげる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画	
4月	4	第1編 第1章 化粧品総論				
5月	6	第2章1節 化粧品の使用による症状				
6月	8	2節 化粧品の定義と法規制 3節 化粧品の安全性と安定性				
7月	4	第3章1節 化粧品の成り立ち			前期定期試験	
8月						
9月	8	2節 水と親水性溶媒 3節 油性原料				
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月						

【 評価基準 】

・定期試験の成績100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	ビジネスマナー		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・後期・その他			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	美容師のための接客・接遇マナー ビジネス実務マナー検定3級ガイド・問題集			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 基本的なビジネスマナー、接遇、言葉使いの基本、諸文書・履歴書の書き方を教科書内容に準じ、各項目の説明・解説・練習問題等を実施する。</p> <p>【達成目標】 サロン従事者としての基本的接遇知識などを習得する。定期試験において合格点を取得する。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画	
4月	4	第1章 社会人としての心構え P. 7～18				
5月	6	第3章 言葉遣いの基本 P. 25～34 席次 P. 53				
6月	8	冠婚葬祭P. 96～103 履歴書の書き方				
7月	5	取引文書、まとめ、試験対策			前期定期試験	
8月						
9月	6	「ビジネス実務マナー検定3級」対策				
10月	6	「ビジネス実務マナー検定3級」対策と演習①				
11月	8	「ビジネス実務マナー検定3級」対策と演習②			検定試験 全員受験	
12月	4	サロン接遇マナー				
1月	6	サロン接遇マナー・社内文書・社外文書				
2月	7	試験対策			後期定期試験	
3月						

【 評価基準 】

- ・定期試験の成績70%
- ・出席点10%
- ・提出物点10%
- ・小テスト点10% とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和6年度 学習指導計画

課目名	サロンワーク		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材				授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	【授業の概要】 サロンワークで必要なお案内やシャンプー、スタイリング、アップといった基礎技術を実践的に学ぶ。					
	【達成目標】 卒業後のサロンワークで必要な接客・技術・マナーを実践的に習得させる。					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月	6	サロンワークで必要な接客技術を身に付ける カウンセリング～サイドシャンプー技術 ブロー技術				
11月	6	カウンセリング～バックシャンプー技術 ブロー技術				
12月	6	シャンプー技術試験				シャンプー技術試験
1月	6	コテを使用した仕込み、編み込みを使ったアップスタイル、シニヨン				
2月	6	コテを使用した仕込み、夜会巻き パーティースタイル技術試験				アップ技術試験
3月						

【 評価基準 】

- ・シャンプー技術試験とアップ技術試験の平均点を学年の成績とし100点法で評価
59点以下の場合には合格するまで再試験を行う

令和6年度 学習指導計画

課目名	デザイン	単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D
履修 時期	○通年・前期・後期・その他()			課目	必修課目・○選択課目
使用教材	AFT色彩検定3級テキスト 自作プリント		授業の種類	○講義・演習・○実技	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 色彩検定3級の知識やパーソナルカラーの基本的な考え方を習得する。</p> <p>【達成目標】 色彩検定3級合格を目指す。パーソナルカラーの基礎知識を習得し、実際にパーソナルカラーを見分けられる。</p>				
実務経験					
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画
4月	6	色の分類と三属性、PCCSについて			
5月	6	PCCSについて、色の心理効果			
6月	8	色の心理効果、色の視覚効果			
7月	2	色彩調和			
8月					
9月	4	配色イメージ、光と色			
10月	4	ファッション、インテリア、復習、AFT色彩検定3級過去問題			
11月	6	AFT色彩検定3級試験の過去問題 パーソナルカラーについて CUS表色系、アンダートーン			AFT色彩検定3級試験
12月	9	簡易パーソナル診断、パーソナルカラーシーズンの特徴・活用 色彩と文化			小テスト(2回)
1月	6	対比・色の感情効果、色相配色			小テスト(2回)
2月	6	色調配色、アンダートーン配色 色彩とファッション			小テスト(2回)
3月	3	パーソナルカラー診断実習			小テスト(2回)

【 評価基準 】

- ・AFT色彩検定3級の試験点数 50%
- ・パーソナルカラー授業の点数(小テストの点数を100点法で評価) 50% を100点法で評価

※59点以下の場合は課題提出させ合格とする。

令和6年度 学習指導計画

課目名	ヘアカラー		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	自作画像教材			授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 ・美容実習で学んだ基礎技術をもとに、カラーリングの基礎から応用までを学ぶ。</p> <p>【達成目標】 ・カラーリングの基礎から応用までの知識と技術を習得する。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～3	カラー剤の知識					
4～12	カラー塗布練習、ウィービング					
13～24	ブリーチ、酸性カラー					
25～27	デザインカラー 様々なパターンを学ぶ					
28～30	ルーツカラー バレイヤーージュなど					
31～36	①デザインカラーバリエーション(カット&カラー)					
37～42	②デザインカラーバリエーション(カット&カラー)					
43～48	③デザインカラーバリエーション(カット&カラー)					
49～54	④デザインカラーバリエーション(カット&カラー) 作品制作立案					
55～60	作品制作(採点)				作品制作	

【 評価基準 】

・カラーリングの筆記試験及び実技試験の平均点をカラーリング試験点数とし、
創作スタイルの点数との平均を100点法で評価。

※59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。

令和6年度 学習指導計画

課目名	ヘアアレンジ		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	自作画像教材			授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 ・美容実習で学んだ基礎技術をもとに、ヘアアレンジ、アップスタイルの基礎から応用までを学ぶ。</p> <p>【達成目標】 ・ヘアアレンジ、アップスタイルの基礎から応用までの知識と技術を習得する。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	アップ 道具の使い方 毛先の扱い方 ゴム、ピンの扱い方など 編み込みスタイル					
7～12	アイロン・コテの使い方 編みこみスタイル応用 アレンジテクニック					
13～18	すき毛の使い方					
19～24	すき毛を使ったアップスタイル					
25～30	アップスタイル①②					
31～36	アップスタイル③④					
37～42	アップスタイル⑤⑥					
49～54	イメージごとのヘアスタイル 創作スタイルのデッサン画作成及びスタイル作					
55～60	創作スタイルの作成				作品制作	

【評価基準】、
創作スタイルの点数を100点法で評価。

※59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。

令和6年度 学習指導計画

課目名	メイクアップ検定		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	JMA公式テキスト2級3級テキスト、1級テキスト メイク道具一式			授業の種類	講義・演習・ 実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 スキンケアからフルメイクまでの基本技術を学ぶ。メイク接客に必要なカウンセリング、アドバイス、応用技術(イメージング)を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 JMA2級・1級合格を目指す。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1~6	JMA3級復習、2級ベースメイク					
7~12	ポイントメイク基本					
13~18	ポイントメイク応用					
19~24	ポイントメイク強化					
25~30	JMA2級模擬試験					
31~36	イメージ理論、キュートメイク、クールメイク					
37~42	カウンセリング、フレッシュメイク、エレガントメイク					
43~48	強弱理論、イメージの応用					
49~54	イメージメイク					
55~60	JMA1級模擬試験				模擬試験	

【 評価基準 】

・模擬試験の成績を100% とし100点法で評価。

※59点以下の場合は課題提出させ合格とする。

令和6年度 学習指導計画

課目名	ジェルネイル		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	テクニカルシステム ジェルネイル		授業の種類	講義・演習・ 実習		
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 JNAジェルネイル技能検定初級を受けるための基礎授業。</p> <p>【達成目標】 ジェルネイルの基礎知識・基礎技術を習得する。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	道具の説明・ケア、相モデルカラー(ポリッシュ) ジェル検定初級DVD視聴・プレパレーション・カラーデモ・オフデモ					
7～12	ジェル理論・相モデルジェルカラーリング&オフ(片手)					
13～18	相モデルジェルカラーリング&オフ(片手)					
19～24	ピーコックアート練習					
25～30	その他基本的なジェルアート					
31～36	相モデル ケア・カラー(ポリッシュ)・ジェルカラーリング通し					
37～42	ピーコック・ジェルアート					
43～48	相モデル ジェル検定初級 第二課題通し					
49～54	相モデル ジェル検定初級 タイムトライアル ※技術試験					
55～60	学科試験・ジェル自由制作					
<p>【 評価基準 】</p> <p>・学科試験及び技術試験の平均を100点法で評価。</p> <p>※59点以下の場合には再試験を行う。</p>						

令和6年度 学習指導計画

課目名	エステティック		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ 後期 ・その他()			課目	必修課目・ 選択課目	
使用教材	日本エステティック協会発行 認定フェイシャルエステティシャン理論と技術		授業の種類	講義・演習・ 実習		
授業の概要 と達成目標	<p>【授業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルケア、ボディケア、フットケア、脱毛の基礎知識と技術を学ぶ <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルケア・ボディケア・フットケア、脱毛の基礎知識と技術の習得 ・認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン資格試験取得を目指す 					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	フェイシャルケアについて 準備の仕方 相モデルでクレンジング、ディープクレンジング(スチーマー、酵素パック、吸引)					
7～12	相モデルでディープクレンジング(ブラシ洗顔)、マッサージ、パック					
13～18	フェイシャル機器(イオン導入、パター) マッサージ、パック					
19～24	ディープクレンジング、フェイシャルマッサージ、特殊パック					
25～30	フットケア、ワックス脱毛					
31～36	ボディケアについて 準備の仕方 ボディマッサージ(下肢背面)					
37～42	ボディマッサージ(背中)					
43～48	ボディ機器(低周波、G5)					
49～54	ボディ機器(低周波、G5) ボディマッサージ復習					
55～60	復習、筆記試験、実技試験				筆記試験、実技試験	

【評価基準】

・筆記試験と実技試験の平均点を100点法で評価

※59点以下は不合格とし課題提出させ合格とする。